

(株)北海道フットボールクラブと町が協定締結



相互の交流で スポーツ観光を推進

スポーツを通じた観光産業の活性化と相互交流などを目的に、洞爺湖町と(株)北海道フットボールクラブ(HFC)、野々村芳和社長)が、11月12日洞爺湖町役場で協定を結びました。同クラブは、J2のコンサドーレ札幌の運営会社。

協定内容は①町は、スポーツ事業などに対し、町内施設の利用や人的応援などについて協力し、町内スポーツ観光推進に関するアドバイザーとしてHFCを受け入れる②HFCは、スポ

ーツ観光推進に対して技術指導や技術提供を行い、北海道観光大使として、広く洞爺湖町のスポーツ観光の推進に協力する③両者は、今後具体的事業について協議し、スポーツ観光推進に向け協働し取り組んでいくなどです。

町内のNPO法人洞爺湖にぎわいネットワーク(福井政吉理事長)が、会場の手配や宿泊などを一元化して引き受けるワンストップサービスで、近年同クラブ主催のサッカー大会など受

け入れてきていて、これを一層発展させようと今回の協定に結びつきました。

野々村社長は「北海道のサッカークラブが果たす社会的な役割を考えていきたい。海外キャンプや海外での試合中継で洞爺湖町をアピールすることも可

早い復興を願う

大島町に見舞金

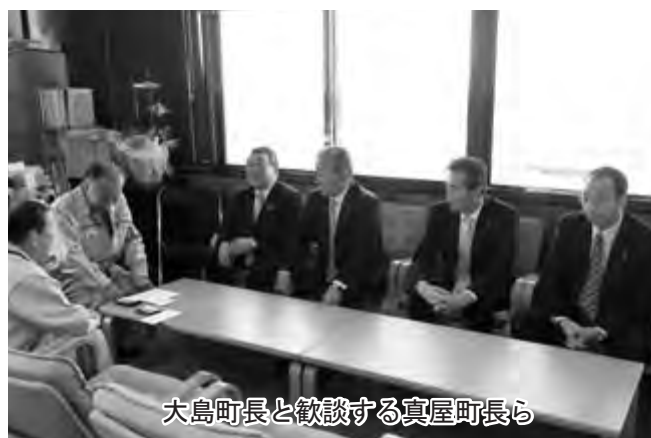
10月の台風26号により甚大な被害を受けた東京都大島町(伊豆大島)を、11月14日洞爺湖、壮瞥町の町長と町議会議長が訪れ、両町合わせで500万円の見舞金目録を届けました。

今回訪問したのは、洞爺湖町が、真屋敏春町長と千葉薫議長、壮瞥町は佐藤秀敏町長と松本勉議長。洞爺湖町が300万円、壮瞥町が200万円の見舞金目録をそれぞれ大島の川島理史町長に手渡しました。

2000年有珠山噴火の際、当時の大島町長が、洞爺湖、壮瞥の両町を訪問し、見舞金を届けていて、今回

能」と話し、リーグの開催時期の変更で「海外でなく国内でキャンプを張るチームが多くなれば、北海道、洞爺湖町に誘致することも現実味を帯びる」と洞爺湖町の今後の観光促進について言及しました。

はその時のお礼と台風被害への見舞いとして、大島町への訪問と見舞金の贈呈を決定しました。



大島町長と歓談する真屋町長ら

選挙管理委員会からのお知らせ。

●洞爺湖町長選挙の期日が、次のとおり決まりました。

■選挙期日

平成26年4月13日

■告示日

平成26年4月8日

■住所要件

平成26年1月7日以前に転入をした者で、引き続き3月上居住している方

■年齢要件

平成6年4月14日以前に出生した方

●洞爺湖町長選挙に係る立候補予定者事前説明会を次のとおり開催します。

■月日

平成26年2月25日(火)

■時間

午前10時00分から

■場所

洞爺湖町役場防災研修ホール

■問合せ

選挙管理委員会 ☎74-3000

